

先日、5月13日(土曜日)、対面式が執り行われました。

対面式の新入部員出席者は、28名です。

今回の対面式は、5月13日、平成6年(1994年)卒、谷本 啓 商学部准教授のご尽力をいただき、神学部の「礼拝堂」にて執り行われました。

厳かな澄み切った空気のなか、「礼拝堂」に、新入部員28名が入場しました。

佐野雅弥幹事長、森島敏夫OB会理事長の歓迎のあいさつの後、新入部員一人一人が、「入部の動機と今後の抱負」について述べました。

そのいくつかをご紹介します。

「動機」

- 入学式の歌声に心が震えた。
- 練習見学のあと、御馳走していただいたら、入部していた。
- 新しいことにチャレンジしてみたいと感じた。
- 関西大学のグリークラブ出身の父から、「同志社に入ったら、グリークラブに入ったらどうだ。同志社のカレッジソングは、日本一カッコイイぞ。」と聞き、決めた。
- 一年生同士で仲良くなり、一緒に入りたいと思った。
- 運命のめぐり合い。1mmも合唱のことは知らなかったが、縁を感じた。
- ちゃんとしたクラブに入りたいと思った。
- 高校時代、何も頑張ることが出来なかった。大学では、頑張りたい。その価値があるクラブだと思う。
- 一生の友人を作りたい。
- 高校時代、合唱部に入っていた。

「抱負」

- ヴォイストレーナーに褒めていただいた。楽器になって感動させたい。
- 創部 120 周年、同志社創立 150 周年の節目で活躍したい。
- 大学の勉強で得られないもの、感動を合唱を通じて人々に与えたい。
- 理系、京田辺校舎の練習回数が少ない。自分が盛り上げて増やしたい。
- 高い声を武器に、パートで一番になりたい。
- 緊張する癖があるが、セカンドのパートリーダーになり、大きなステージに立ちたい。
- 人として成長したい。
- 今年は、関学を破り、日本一になりたい。

○同期で一番成長したといえるほど、頑張ってみたい。

一人一人確りとした考えで入部していると、改めて、感心いたしました。

今年の一年生は、来年の創部 120 周年、再来年の創立 150 周年の原動力となる学年です。

是非、4 年間続けて欲しいと思います。

5月21日(日曜日)は、一年生のみ強化練習(指導 伊東技術顧問、東現役担当、小嶋指揮者、中山副指揮者)。

練習のあとは、上級生と共に懇親会を予定しています。(強化練習と懇親会は、OB 会後援)

今後の予定です。

○6月18日(日曜日) 京都合唱祭(ロームシアター京都) 一年生の初ステージ。

○6月24日(土曜日) 第72回 東西四大学合唱演奏会(東京芸術劇場 コンサートホール)18:00 開演

関東圏のOBの皆様は、どうか、現役の演奏を聴いてくださいますようお願いいたします。

今年度の定期演奏会が、50名のステージで迎えられよう、現役担当として、一層支援していきたいと思っております。

引き続き、ご支援をお願いいたします。

現役担当 山下(S55) 小淵(H26)、東(H29) 宮本(H31)